



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)井谷 憲次  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,432	△7.5	744	△38.1	674	△46.8	230	△66.8
28年3月期第2四半期	21,008	11.0	1,201	2.3	1,269	△8.3	694	△16.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,077 百万円 ( —%) 28年3月期第2四半期 433 百万円 (△64.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	6.82	—
28年3月期第2四半期	20.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	50,173	39,970	76.3
28年3月期	52,865	41,572	75.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 38,292 百万円 28年3月期 39,667 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円

29年3月期配当金(予想)につきましては、平成28年5月6日に「平成28年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	0.8	3,650	0.3	3,700	2.1	2,150	2.7	63.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期2Q	34,536,635株	28年3月期	34,536,635株
29年3月期2Q	673,984株	28年3月期	673,877株
29年3月期2Q	33,862,630株	28年3月期2Q	33,863,387株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成28年11月17日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、米国や欧州経済の回復が見られた一方、中国では経済成長の減速が継続しております。国内では個人消費は堅調に推移するものの、円高の進行などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。世界5地域における開発・生産・販売の推進を継続するとともに、社会の期待にお応え出来る商品開発の迅速化に努めております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は19,432百万円（前年同四半期比△1,575百万円、7.5%減）となりました。減収となったことなどにより、営業利益は744百万円（前年同四半期比△457百万円、38.1%減）、経常利益は674百万円（前年同四半期比△594百万円、46.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は230百万円（前年同四半期比△463百万円、66.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は11,725百万円（前年同四半期比△717百万円、5.8%減）、セグメント利益（営業利益）は1,679百万円（前年同四半期比△309百万円、15.6%減）となりました。

教育市場向けの放送設備や、自治体向け減災・防災市場向けスピーカーの販売は増加しましたが、駅舎や鉄道車両などの交通市場向け商品や、セキュリティ商品の売上高が減少した影響を受け、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,605百万円（前年同四半期比△394百万円、19.7%減）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同四半期比△17百万円、41.5%減）となりました。

カナダで教育市場向けに赤外線マイクシステムなどの売上高は堅調に推移しましたが、前年同四半期にアメリカの鉄道車両向けに大口の売上高があった影響などにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は2,247百万円（前年同四半期比△314百万円、12.3%減）、セグメント利益（営業利益）は151百万円（前年同四半期比△98百万円、39.4%減）となりました。

南アフリカで空港向けに放送設備の売上高は増加しましたが、欧州で非常用放送設備販売の競争が激化したことに加え、円高・ユーロ安の影響などにより、売上高は減少しました。また、販路拡充に向けた販管費増加などにより、セグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は3,086百万円（前年同四半期比+35百万円、1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は339百万円（前年同四半期比△17百万円、5.0%減）となりました。

デジタルPAアンプなどの地域商品の売上高が伸長しました。販売地域では、インドネシアやベトナムでの販売が堅調に推移したことに加え、タイで駅舎向けの売上高が増加しましたが、為替円高による売上高の目減りのため、売上高は微増となりました。売上高が微増に留まったことや、原価率上昇などにより、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は767百万円（前年同四半期比△185百万円、19.4%減）、セグメント利益（営業利益）は144百万円（前年同四半期比△47百万円、24.8%減）となりました。

商業施設向けの放送設備を中心に台湾、香港での販売は堅調に推移しましたが、中国での売上高が減少したことなどにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は50,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,691百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、為替円高に伴う為替換算調整勘定の減少などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は17,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ621百万円の減少となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益による増加674百万円、減価償却費434百万円、売上債権の減少額1,820百万円、たな卸資産の増加額△748百万円、仕入債務の減少額△446百万円、法人税等の支払額△343百万円などにより、営業活動による資金の増加は997百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産設備や本社設備の取得による資金の減少354百万円などにより、投資活動による資金の減少は370百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払406百万円などにより、財務活動による資金の減少は296百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年8月2日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,283	14,588
受取手形及び売掛金	9,827	7,681
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,473	5,328
仕掛品	1,003	1,169
原材料及び貯蔵品	2,303	2,339
その他	1,075	1,204
貸倒引当金	△90	△49
流動資産合計	38,376	35,762
固定資産		
有形固定資産	6,547	6,292
無形固定資産	1,512	1,449
投資その他の資産		
投資有価証券	5,600	5,840
投資その他の資産	866	852
貸倒引当金	△37	△24
投資その他の資産合計	6,429	6,668
固定資産合計	14,489	14,410
資産合計	52,865	50,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,616	2,975
短期借入金	1,083	1,189
未払法人税等	211	217
引当金	210	174
その他	1,962	1,439
流動負債合計	7,083	5,997
固定負債		
退職給付に係る負債	2,791	2,723
その他	1,416	1,482
固定負債合計	4,208	4,206
負債合計	11,292	10,203
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	24,925	24,749
自己株式	△393	△393
株主資本合計	36,678	36,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,273	3,440
為替換算調整勘定	△155	△1,561
退職給付に係る調整累計額	△129	△88
その他の包括利益累計額合計	2,989	1,789
非支配株主持分	1,905	1,678
純資産合計	41,572	39,970
負債純資産合計	52,865	50,173

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,008	19,432
売上原価	12,225	11,040
売上総利益	8,783	8,392
販売費及び一般管理費	7,581	7,647
営業利益	1,201	744
営業外収益		
受取利息	22	15
受取配当金	35	35
受取保険金及び配当金	25	25
その他	54	40
営業外収益合計	138	116
営業外費用		
支払利息	11	12
為替差損	51	166
その他	7	7
営業外費用合計	70	186
経常利益	1,269	674
税金等調整前四半期純利益	1,269	674
法人税等	415	263
四半期純利益	853	410
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	179
親会社株主に帰属する四半期純利益	694	230

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	853	410
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△298	166
為替換算調整勘定	△152	△1,692
退職給付に係る調整額	31	37
その他の包括利益合計	△420	△1,487
四半期包括利益	433	△1,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274	△969
非支配株主に係る四半期包括利益	158	△108



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,269	674
減価償却費	438	434
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	20
受取利息及び受取配当金	△58	△51
為替差損益(△は益)	△1	136
支払利息	11	12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△138	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,087	1,820
たな卸資産の増減額(△は増加)	△314	△748
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,132	△446
未払金の増減額(△は減少)	△361	△243
その他	△642	△306
小計	2,144	1,301
利息及び配当金の受取額	58	50
利息の支払額	△5	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△645	△343
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,551	997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△242	△366
定期預金の払戻による収入	219	362
有形固定資産の取得による支出	△264	△149
有形固定資産の売却による収入	1	3
無形固定資産の取得による支出	△195	△204
貸付金の回収による収入	0	0
その他	37	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△444	△370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	113	206
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△33	△39
配当金の支払額	△710	△406
非支配株主への配当金の支払額	△58	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688	△296
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△952
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	317	△621
現金及び現金同等物の期首残高	17,594	17,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,912	17,291

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,442	2,000	2,561	3,051	953	21,008	—	21,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,268	9	2	2,299	1,918	7,499	△7,499	—
計	15,710	2,009	2,564	5,350	2,872	28,508	△7,499	21,008
セグメント利益 (営業利益)	1,988	42	249	357	191	2,830	△1,628	1,201

(注) セグメント利益の調整額△1,628百万円には、セグメント間取引消去△46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,581百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,725	1,605	2,247	3,086	767	19,432	—	19,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,853	13	4	1,933	1,824	6,629	△6,629	—
計	14,578	1,619	2,252	5,019	2,592	26,062	△6,629	19,432
セグメント利益 (営業利益)	1,679	24	151	339	144	2,338	△1,594	744

(注) セグメント利益の調整額△1,594百万円には、セグメント間取引消去105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,700百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。